水道事業ビジョンの策定にあたって

1-1. 策定の経緯

本市では、平成21年3月に将来にわたって、安心かつ安定した水道水を供給し、利用者が満足できる水道事業を継続するために、「本庄市水道ビジョン」を策定しました。また、事業の実施にあたっては、計画期間における具体的な事業運営の内容を取りまとめた中期経営計画を策定し、計画的かつ効率的な事業運営の推進に努めています。

・本庄市水道ビジョン 計画期間:平成21年度から平成29年度まで(9年間)

・中期経営計画 前期:平成22年度から平成25年度まで(4年間)

後期: 平成26年度から平成29年度まで(4年間)

当該計画期間の終了を迎えるに当たり、前計画に引き続き、水道事業の経営基盤の強化、安全で安心な水道水の安定供給、並びに、戦略的な事業運営を図るため、先の計画を継承する「本庄市水道事業ビジョン」を策定します。

「本庄市水道事業ビジョン」は、水道事業を取り巻く環境の変化や先の計画の評価に加えて、これからの水道事業の課題を踏まえ、長期的な視点にたって策定します。

水道ビジョン

8

本庄市水道ビジョン

平成 21 年 3 月

本庄市水道部



- ① 事業環境の変化
- ② 現施策の見直し
- ③ 新たな課題

水道事業ビジョン

本庄市水道事業ビジョン

~水道事業基本計画の概要~

平成30年3月

本庄市

1-2. ビジョンの位置づけ

「水道事業ビジョン」は、市政の基本計画である「本庄市総合振興計画」との整合性を 図りつつ、本市水道事業において今後概ね10年間のうちに取り組む事業の方針や施策等 をとりまとめるものです。また、本市は、「水道事業ビジョン」を計画の骨子として、その 具体的な計画をまとめた「水道事業基本計画」を作成しています。「水道事業基本計画」は、 以下の諸計画を包括した総合計画となります。

- ① 厚生労働省が示した「新水道ビジョン*1」に基づく「水道事業ビジョン*2」
- ② 総務省が策定を求めている「経営戦略*3」
- ③ 「水道事業ビジョン」で掲げた基本施策を実施するにあたって事業の内容を詳細化した「事業計画」
- ④ 耐震化計画やアセットマネジメント等の「個別計画」

そのため、「水道事業ビジョン」は、「経営戦略」や「事業計画・個別計画」での検討結果を踏まえた内容となります。

なお、「水道事業基本計画」の骨子である「水道事業ビジョン」の策定にあたっては、本 庄市水道事業審議会やバブリック・コメントにより頂いた意見を参考とします。

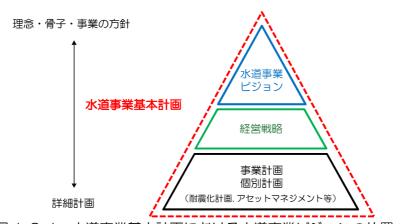


図 1-2-1 水道事業基本計画における水道事業ビジョンの位置づけ

*1 新水道ビジョン

厚生労働省は、水道を取り巻く状況の大きな変化を踏まえ、来るべき時代に求められる課題に挑戦するための「新水道ビジョン」を平成25年3月に策定・公表しています。また、水道事業者等がその役割を果たす上で必要となる取り組みを推進するために「水道事業ビジョン」の作成を推奨しています。

*2 水道事業ビジョン

厚生労働省が示した「新水道ビジョン」に基づくもので、50年、100年先の水道の理想像を踏まえたうえで、「持続」、「安全」、「強靱」の観点から優先的に実施する必要性が高い施策とその目標を示したものです。

*3 経営戦略

総務省は、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定を求めています。経営戦略は、経営健全化に向けた取り組みの一環として、施設・設備投資の見通し(投資試算)と財源の見通し(財源試算)を均衡させた収支計画を策定することが全国の水道事業者に求められています。

1-3. 計画期間と目標年度

「新水道ビジョン」(厚生労働省)及び「経営戦略」(総務省)に係る手引やガイドライン等は、計画期間を、概ね10年または10年以上に設定すべきとしています。

現行の本庄市総合振興計画は、平成20年度から平成29年度までを対象としたものであり、来期総合振興計画は、平成30年度以降の10年間を対象としたものとなる予定です。そのため、来期水道事業ビジョンへの改定を見据え、再来期の総合振興計画の策定(平成39年度末見込み)から約2年の検討期間を設けることができるよう、計画期間を12年、目標年度を平成41(2029)年度とします。

なお、計画期間は12年としますが、「本庄市水道事業ビジョン」は、50年後、100年後を見据えながら、本市水道事業の理想とする将来像を実現するため、優先的に実施する必要性が高い事業・取り組みに対する目標を定め、着実な推進に努めます。

計画期間:平成30年4月~平成42年3月(12年間)

計画目標年度:平成41年度

H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36 H37 H38 H39 H40 H41 H42 度 西 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 再来期 来期 総合振興計画 総合振興計画 総合振興計 平成30年度~平成39年度 再来期に向けた検討く 水道事業ビジョン 水道事業ビジョン 平成30年度~平成41年度 来期に向けた検討

表 1-3-1 計画期間